

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-219922(P2009-219922A)

【公開日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-161415(P2009-161415)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月17日(2010.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技を行い、遊技の進行に応じて遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技に供される遊技装置を制御するための遊技装置制御手段と、

遊技の進行に応じて変動する前記遊技装置制御手段の制御データを記憶するための記憶手段と、

遊技機の電源断時でも制御データを前記記憶手段に保持させるための保持用電源と、前記保持用電源からの電力を入力する保持用電源入力部と、

前記保持用電源入力部に入力される電圧を安定化する電圧安定化手段と、

所定電位電源の電圧低下にもとづいて検出信号を出力する電源監視手段と、

複数種類の識別情報の可変表示を行いうことが可能な表示装置を制御する表示制御手段とを備え、

前記遊技装置制御手段は、

前記電源監視手段からの前記検出信号の入力に応じて、電源断フラグを前記記憶手段に設定する処理と、前記記憶手段に記憶されている複数のデータを対象として前記記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成して前記記憶手段に記憶させる処理とを含む電源断時処理を実行し、

電力供給が開始されたときに、前記記憶手段に前記電源断フラグが記憶されていたことを条件に、前記記憶手段に記憶されている前記複数のデータを対象とする演算を行い演算結果にもとづいて前記記憶手段に記憶されているチェックデータが正常か否か判定することによって前記記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行し、前記記憶手段の記憶内容が正常であったときに制御状態を電源断時の状態に戻すための復旧処理を実行し、前記記憶手段に前記電源断フラグが記憶されていないときには、前記チェックデータにもとづいて前記記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行せずに前記記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行し、

前記表示制御手段に対して、識別情報の可変表示を開始するときに識別情報の可変表示時間を特定可能なコマンドを出力し、前記可変表示時間が終了したときに確定コマンドを出力し、

前記表示制御手段は、前記可変表示時間を特定可能なコマンドが出力されたタイミングで可変表示を開始し、前記確定コマンドが出力されたタイミングで前記表示装置に表示結果を導出表示する制御を行う

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明による遊技機は、所定の遊技を行い、遊技の進行に応じて遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技に供される遊技装置を制御するための遊技装置制御手段と、遊技の進行に応じて変動する遊技装置制御手段の制御データを記憶するための記憶手段と、遊技機の電源断時でも制御データを記憶手段に保持させるための保持用電源と、保持用電源からの電力を入力する保持用電源入力部と、保持用電源入力部に入力される電圧を安定化する電圧安定化手段と、所定電位電源の電圧低下にもとづいて検出信号を出力する電源監視手段と、複数種類の識別情報の可変表示を行うことが可能な表示装置を制御する表示制御手段とを備え、遊技装置制御手段は、電源監視手段からの検出信号の入力に応じて、電源断フラグを記憶手段に設定する処理と、記憶手段に記憶されている複数のデータを対象として記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成して記憶手段に記憶させる処理とを含む電源断時処理を実行し、電力供給が開始されたときに、記憶手段に電源断フラグが記憶されていたことを条件に、記憶手段に記憶されている複数のデータを対象とする演算を行い演算結果にもとづいて記憶手段に記憶されているチェックデータが正常か否か判定することによって記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行し、記憶手段の記憶内容が正常であったときに制御状態を電源断時の状態に戻すための復旧処理を実行し、記憶手段に電源断フラグが記憶されていないときは、チェックデータにもとづいて記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行せずに記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行し、表示制御手段に対して、識別情報の可変表示を開始するときに識別情報の可変表示時間を特定可能なコマンドを出力し、可変表示時間が終了したときに確定コマンドを出力し、表示制御手段は、可変表示時間を特定可能なコマンドが出力されたタイミングで可変表示を開始し、確定コマンドが出力されたタイミングで表示装置に表示結果を導出表示する制御を行うことを特徴とする。なお、電圧安定化手段は、例えばノイズ除去および電圧波形平滑化の目的で設けられる。